



2026 年 8 月 7 日

各 位

会 社 名 光ビジネスフォーム株式会社
代表者名 代表取締役社長 松本 康宏
(コード：3948 東証スタンダード)
問合せ先 取締役管理本部長 岡野 寛
(TEL. 03-3348-1435)

(訂正)「2026 年 12 月期 第 2 四半期 (中間期) 決算短信〔日本基準〕(非連結) の一部訂正について

2026 年 8 月 7 日に公表いたしました「2026 年 12 月期 第 2 四半期 (中間期) 決算短信〔日本基準〕(非連結)」におきまして、一部訂正を要する箇所がございましたので、下記のとおり訂正いたします。また、修正箇所が多岐にわたるため、正しい決算短信を添付いたします。

なお、売上高・営業利益等の数値情報につきましては、訂正はなく、内容に変更はございません。

1. 訂正の理由

添付資料の表題 (ヘッダー) の年度表記に誤りがございましたので、下記のとおり訂正いたします。

2. 訂正の内容

訂正箇所：添付資料 p. 1～p. 6 の表題 (ヘッダー)

【訂正前】2025 年 12 月期 第 2 四半期 (中間期) 決算短信 (非連結)

【訂正後】2026 年 12 月期 第 2 四半期 (中間期) 決算短信 (非連結)

記載内容に誤りがございましたことを深くお詫び申し上げます。

以 上



2026年12月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（非連結）

2026年8月7日

上場会社名 光ビジネスフォーム株式会社 上場取引所 東
コード番号 3948 URL <http://https://hikaribf.co.jp>
代表者 （役職名）代表取締役社長 （氏名）松本 康宏
問合せ先責任者 （役職名）取締役管理本部長 （氏名）岡野 寛 TEL 03(3348)1435
半期報告書提出予定日 2026年8月12日 配当支払開始予定日 2026年9月4日
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 2026年12月期第2四半期（中間期）の業績（2026年1月1日～2026年6月30日）

（1）経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年12月期中間期	4,139	8.8	374	—	402	338.3	273	355.8
2025年12月期中間期	3,806	0.1	24	△55.1	91	24.4	59	31.7

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年12月期中間期	50.83	—
2025年12月期中間期	10.84	—

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年12月期中間期	12,050	9,531	79.1
2025年12月期	11,555	9,371	81.1

（参考）自己資本 2026年12月期中間期 9,531百万円 2025年12月期 9,371百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年12月期	—	20.00	—	25.00	45.00
2026年12月期	—	25.00	—	—	—
2026年12月期（予想）	—	—	—	25.00	50.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年12月期の業績予想（2026年1月1日～2026年12月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,700	△0.6	500	147.3	500	78.3	340	124.1	63.24

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（中間期）

2026年12月期中間期	5,815,294株	2025年12月期	5,815,294株
2026年12月期中間期	435,517株	2025年12月期	434,517株
2026年12月期中間期	5,376,297株	2025年12月期中間期	5,533,442株

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 経営成績等の概況（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 中間財務諸表及び主な注記	3
(1) 中間貸借対照表	3
(2) 中間損益計算書	4
(3) 中間キャッシュ・フロー計算書	5
(4) 中間財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等の注記)	6
3. その他	6

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、堅調な企業業績や雇用・所得環境の改善を背景に緩やかな回復基調が続いております。その一方で、為替相場における円安の進行や中東情勢の緊迫化による原油や石油製品の供給不安、それに伴う物価上昇など、景気の先行きは依然として不透明な状況にあります。

フォーム印刷業界におきましては、企業や行政機関におけるデジタル化、ペーパーレス化の進展により、従来の印刷需要は減少傾向にあり、差別化や付加価値の創出が求められております。また、原材料費、物流費の高騰や人件費の上昇といったコスト面の圧力も増加しており、厳しい経営環境が続いております。

このような情勢の中、当社は資材や物流コスト、人件費の値上りに対応するため、引き続きお客様のご理解を得ながら、社会情勢を踏まえた適正価格での販売促進に努めるとともに、給付金や地域商品券をはじめとする公的需要の取り込み、企業における省力化・効率化に向けたアウトソーシング需要の獲得に取り組んでまいりました。また、印刷機能の集約による生産効率及び稼働率の向上、印刷工程における外部委託先の積極的な活用を図り、運営コストの削減にも努めております。この結果、売上高4,139百万円（前年同期比8.8%増）、営業利益374百万円（前年同期比1,454.3%増加）、経常利益402百万円（前年同期比338.3%増）、中間純利益273百万円（前年同期比355.8%増）となりました。

また、売上状況につきましては、印刷関連1,310百万円（前年同期比0.7%増）、D P P 2,404百万円（前年同期比7.5%増）、W E B 108百万円（前年同期比55.0%増）、B P O 316百万円（前年同期比59.9%増）となっております。

(2) 当中間期の財政状態の概況

①資産、負債及び純資産の状況

当中間会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べて494百万円増加し、12,050百万円となりました。資産の部においては、流動資産が259百万円減少し4,628百万円、固定資産が754百万円増加し7,421百万円となりました。また、負債の部においては、流動負債が45百万円減少し1,319百万円、固定負債が380百万円増加し1,198百万円となりました。この結果、純資産の部においては、159百万円増加し9,531百万円となり、自己資本比率が79.1%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当中間会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、前事業年度末に比べ270百万円減少し、3,037百万円となりました。

当中間会計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は306百万円（前年同期は80百万円の獲得）となりました。これは主として税引前中間純利益402百万円、未払金の増加額123百万円、減価償却費121百万円、仕入債務の減少額284百万円、売上債権の増加額36百万円、及び棚卸資産の増加額31百万円によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は360百万円（前年同期は44百万円の獲得）となりました。これは主として有形固定資産の取得による支出348百万円、及び無形固定資産の取得による支出11百万円であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は215百万円（前年同期は222百万円の使用）となりました。これは主として配当金の支払134百万円、リース債務の返済による支出71百万円、及び自己株式の取得による支出9百万円によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年7月9日に公表いたしました2026年12月期の通期業績予想につきましては、変更はありません。

2. 中間財務諸表及び主な注記

(1) 中間貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年12月31日)	当中間会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,307,864	3,037,411
受取手形、売掛金及び契約資産	993,876	1,023,785
電子記録債権	24,631	30,867
製品	171,017	210,851
仕掛品	21,624	14,158
原材料	30,331	29,488
その他	339,695	283,077
貸倒引当金	△633	△782
流動資産合計	4,888,407	4,628,858
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	933,795	1,304,959
機械及び装置（純額）	76,438	72,279
土地	2,491,745	2,491,745
その他（純額）	436,743	746,158
有形固定資産合計	3,938,722	4,615,142
無形固定資産	15,598	21,931
投資その他の資産		
投資有価証券	1,808,934	1,847,718
その他	912,176	945,024
貸倒引当金	△8,629	△8,629
投資その他の資産合計	2,712,481	2,784,114
固定資産合計	6,666,803	7,421,187
資産合計	11,555,210	12,050,046
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	464,750	409,170
電子記録債務	231,838	—
未払法人税等	20,774	143,651
賞与引当金	64,134	65,643
役員賞与引当金	17,300	7,250
その他	566,867	694,095
流動負債合計	1,365,665	1,319,810
固定負債		
資産除去債務	101,320	101,646
その他	716,632	1,097,161
固定負債合計	817,952	1,198,807
負債合計	2,183,618	2,518,618
純資産の部		
株主資本		
資本金	798,288	798,288
資本剰余金	608,489	607,038
利益剰余金	7,648,877	7,787,646
自己株式	△396,638	△400,679
株主資本合計	8,659,016	8,792,293
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	712,574	739,134
評価・換算差額等合計	712,574	739,134
純資産合計	9,371,591	9,531,428
負債純資産合計	11,555,210	12,050,046

(2) 中間損益計算書

(単位：千円)

	前中間会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)	当中間会計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年6月30日)
売上高	3,806,215	4,139,435
売上原価	3,042,625	3,038,942
売上総利益	763,589	1,100,493
販売費及び一般管理費	739,463	725,509
営業利益	24,125	374,983
営業外収益		
受取利息	1,002	2,893
受取配当金	14,291	19,982
受取保険金	52,912	5,811
受取賃貸料	1,511	1,527
雑収入	2,930	7,498
営業外収益合計	72,648	37,712
営業外費用		
支払利息	2,885	9,541
賃貸費用	273	276
固定資産除却損	307	637
支払手数料	655	115
障害者雇用納付金	900	—
営業外費用合計	5,022	10,571
経常利益	91,751	402,124
特別利益		
固定資産売却益	9,560	—
特別利益合計	9,560	—
税引前中間純利益	101,312	402,124
法人税、住民税及び事業税	24,954	125,156
法人税等調整額	16,399	3,670
法人税等合計	41,353	128,826
中間純利益	59,958	273,297

(3) 中間キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)	当中間会計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前中間純利益	101,312	402,124
減価償却費	95,959	121,056
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△5,950	△10,050
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△2,058	1,509
受取利息及び受取配当金	△15,293	△22,875
支払利息	2,885	9,541
固定資産除売却損益 (△は益)	△9,253	383
売上債権の増減額 (△は増加)	△261,532	△36,145
立替金の増減額 (△は増加)	84,602	7,243
預け金の増減額 (△は増加)	△135,131	—
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△67,272	△31,525
仕入債務の増減額 (△は減少)	316,521	△284,625
未払金の増減額 (△は減少)	21,391	123,408
未払消費税等の増減額 (△は減少)	28,449	△1,332
前払年金費用の増減額 (△は増加)	△24,407	△25,546
その他	△67,167	23,713
小計	63,055	276,879
利息及び配当金の受取額	15,293	22,875
利息の支払額	△2,885	△9,541
法人税等の支払額	△6,395	△7,586
法人税等の還付額	11,456	17,833
その他	162	5,811
営業活動によるキャッシュ・フロー	80,687	306,272
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△17,578	△348,641
有形固定資産の売却による収入	33,720	—
無形固定資産の取得による支出	△2,140	△11,240
投資有価証券の取得による支出	△24,600	—
投資有価証券の売却による収入	798	—
保険の解約による収入	71,219	—
敷金及び保証金の差入による支出	△3,410	—
資産除去債務の履行による支出	△9,583	—
その他	△3,764	△886
投資活動によるキャッシュ・フロー	44,661	△360,767
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	△44,933	△71,463
配当金の支払額	△111,138	△134,528
自己株式の取得による支出	△66,437	△9,966
財務活動によるキャッシュ・フロー	△222,509	△215,957
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△97,159	△270,452
現金及び現金同等物の期首残高	3,810,363	3,307,864
現金及び現金同等物の中間期末残高	3,713,203	3,037,411

(4) 中間財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

当社は、印刷関連事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

3. その他

販売実績

当中間会計期間（自 2026年1月1日 至 2026年6月30日）における販売実績を製品区分別に示すと、次のとおりであります。

製品区分	販売高（千円）	前年同期比（％）
印刷関連	1,310,012	100.7
D P P	2,404,545	107.5
W E B	108,476	155.0
B P O	316,401	159.9
合計	4,139,435	108.8